



マンゴー収穫祭

4月17日(金)、上原正一さん(崎園)の園地において「令和8年産マンゴー収穫祭」がJAそお鹿児島主催で開催されました。

本年産は、ミツバチの活動低下による着果不良の影響で、出荷量が減少する見込みですが、糖度や形状など品質は良好です。

JA管内では生産者9名が栽培をおこなっており、販売数量は約17トンを見込んでいます。



パッションフルーツ収穫祭

5月13日(水)、中崎増雄さん(下谷迫)の園地において「令和8年産パッションフルーツ収穫祭」がJAそお鹿児島主催で開催されました。近年の燃料や資材の高騰など、生産現場を取り巻く環境は厳しさを増しています。

そのような状況の中、本年産のパッションフルーツは生産者の丁寧な管理と努力により、品質・生産量ともに順調な生育状況となっており、JAそお鹿児島管内の農家18戸で販売数量は約45トンを見込んでいます。



青少年のための 芸術鑑賞事業

5月28日(木)、中沖小学校体育館において「青少年のための芸術鑑賞事業」が開催されました。

この事業は、児童・生徒に芸術に対する興味・関心を持ってもらうことを目的に、鹿児島県が実施するもので、当日は鹿児島オペラ協会によるオペラ歌唱と桐の音楽院(鹿児島市)による^{こと}箏の演奏が披露されました。

6年生の神田^{しづく}詩姫さんは、「オペラは7人で歌っていても一人一人の声が入ってきて、高音から低音までのハーモニーがとてもきれいでした。この音色は、目を閉じて聴いていると、情景がうかんできました」と感想を話してくれました。



東西落語競演会

5月17日(日)、町中央公民館大ホールにおいて、大崎町文化協会の主催で「東西落語競演会」が開催されました。普段なかなか触れることのできない落語を楽しもうと約150名の方々が参加しました。東京を中心に活動されている橘家蔵之助さんと大阪府を中心に活動している桂梅團治さん、桂小梅さんの落語に会場は大きな笑いに包まれていました。